



CAMPUS

Vol.
123

2016 SPRING

奈良工業高等専門学校

平成28年3月発行
〒639-1080 奈良県大和郡山市矢田町22
奈良工業高等専門学校 広報室
TEL. 0743-55-6034(CAMPUS担当)
ホームページ <http://www.nara-k.ac.jp>
メールアドレス gakusei@jimu.nara-k.ac.jp



ロボコン全国優勝 ロボコン大賞 ダブル受賞

全国高専 ラグビー大会 準優勝



C contents

巻頭言	02
高専女子フォーラムに参加して	03
奈良高専も地方創生に取り組むことになりました。	
学生の活躍①・学生表彰(後期)	04
奈良高専Aチーム「ロボット名:大和」が優勝	05
全国高等専門学校ラグビー大会準優勝!	
卒業おめでとう	06

専攻科修了おめでとう	08
退職にあたって	09
カウンセラーだより	
学生の活躍②	10
学生会から	11
クラブ・同好会紹介	

I information

- ☆「英語プレゼンテーションコンテスト」で
全国大会出場!
- ☆「高専プレコン全国大会で得たもの」
- ☆読書ノススメ
～今年も「ナイスランナー賞」を受賞しました!～
- ☆卒業記念品の寄贈
- ☆行事予定(4月～7月)



谷口 研二

奈良工業高等専門学校 学校長

学生の皆さんは小学生の頃、誕生日やクリスマスの日がやってくるのを一日千秋の思いで待っていた経験があるでしょう。そんな待ち望んだ楽しい日もその日がくれば、あっという間に過ぎ去ってしまいます。私は今、それと同じ想いでこの文章を書いています。5年前、心待ちにしていた奈良高専に赴任しました。そして1年、2年が経ち、先ごろこの原稿を依頼されて退任が近いことを改めて認識しました。楽しく過ごした奈良高専を離れるのは残念ですが、退任後はまた別の世界で仕事に邁進していくつもりです。同じ時期に入学して同じ頃に卒業する現5年生は同期生のような気がします。卒業後も本校に在籍した一員(同窓生)として奈良高専の発展に陰ながら応援していきたいと思っています。

奈良高専の校長に決まった時、新しい教育に一步踏み出せる嬉しい気持ちで一杯でした。どこの大学でも「高専卒は良く勉強する。何よりも技術者としての心構えができています」と言われるように、その頃、勉強熱心な編入生の存在が大学で話題になっていました。怠惰な大学生の現状を打開する鍵は高専教育にあると感じて、その不思議を探りに本校に赴任してきました。そして最初に気付いたことは、教員の意識や持ち時間の多くが学生に振り向けられていることでした。たとえば、実験・実習のレポート提出は学生にとって辛いことですが、それ以上にレポートを読み、採点する先生方の苦労も大変なものです。先日、受け取った専攻科生のレポートには出題者が想定もしていない豊かな発想が数多く見受けられ、楽しく読ませて貰いました。この裏には教員の日頃の地道な指導があると強く感じた次第です。もちろん、高専教育の充実には、先生方の努力だけでなくそれに応えようとする学生の存在も欠かせません。学生は15歳の頃に高専を選択しただけあって技術者を目指す意識が高いように思えます。面白いことに、最近、大学では高専教育を手本にした教育改革が始まっています。理論と実践力とのバランスの良い教育を通して社会で通用する人材が育成できると判

てきたからです。しかし実際のところは、看板(教育制度)を取り替えただけで実践教育ができる訳ではありません。学生に時間を割く意識を持つ教員と、技術者志向の強い学生がいる高専だからこそ実践教育が上手く機能しているのです。そんな教育を受けた皆さんは、卒業後、同年輩の人たちに比べて手厚い教育を受けてきたと気付くことでしょう。一握りの人しか経験できない高専教育に自信と誇りを持ってください。

話題は変わって、在任期間中、学生の活躍に何度も感動させられました。今年1月の全国高専ラグビーフットボール大会の決勝戦では惜しくも1点差で負けましたが、過去の大会の中で、あれほど応援団が一体となって盛り上がった試合はありませんでした。One for all, all for oneの精神の下、一丸となって全国大会優勝を目指して練習を積み重ねてきた選手を誇りに思います。

さらに、昨年未の悲願だったロボコン全国大会制覇とロボコン大賞の同時受賞も素晴らしい出来事でした。2年前のことですが、惜敗したチームのメンバーが「数百回に一回起こる誤動作を解決しないまま試合に臨んだ私たちの負けです」と言った言葉は忘れることができません。この立派な技術者魂を持ったメンバーだからこそ本年度、全国大会制覇ができたのです。

もちろんそれ以外のコンテストや試合などでも活躍した学生が大勢いましたが、紙面の都合上、それらを紹介できないのが残念です。

人は年齢を重ねれば、それだけ生きている期間を短く感じます。同じ一年なのに、若い人には「十分な時間」があり、年配者には「あっ」と言うほどの短い間しかありません。学生時代、悩みぬいて各地を旅していた時、偶然に出会った老人が「若い頃に帰れるならどんな苦労があっても君のような若い年頃に帰りたい。まだまだ夢がみれる若者がとつても羨ましい」とつぶやいた一言が私の生き方を考える大きな契機となりました。悶々としていた頭の中に真っ青な空が広がって気持ちがはっきりと切り替わったのを覚えています。

若い皆さんには知力や体力を鍛える充分な時間があり、高専にはやりたいことができる環境があります。一步前に踏み出せば扉の向こうには全く違う景色が広がっています。限られた時間の中で色々なことにチャレンジし、多くの失敗の中からそれぞれの生きがいを見出し、魂がゆさぶられる感動的な体験をしてください。それでこそ勇気を持って人生の扉を開けた甲斐があるというものです。

私は何かに一生涯懸命に打ち込んでいる学生を傍からじっと見ているのが大好きです。「学生チャレンジプロジェクト」はその想いを具現化する一つの手段でした。そんな校長の思いにしっかりと応えてくれた学生諸君に心から感謝しています。

これからは若い皆さんが主役の物語の幕開けです。皆さんの今後の活躍と明るい未来を祈念しながら、この辺りでお別れとします。





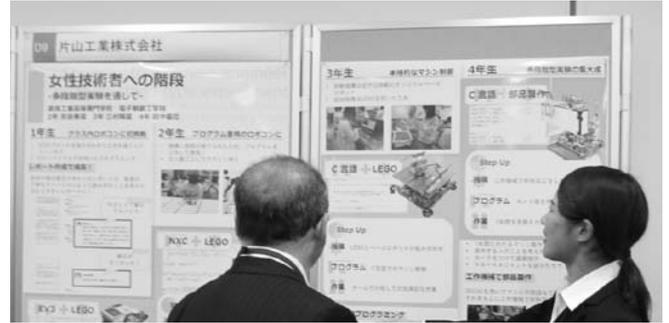
高専女子フォーラムに参加して

高専女子フォーラムを通しての経験

電子制御工学科4年 田中 優花

私は今回のフォーラムで、女子中学生とその保護者の方、そして企業関係者の方々に向けて電子制御工学科で受講している多段階型実験についてのポスター発表を行いました。自らポスターを作成し発表することで、多くの方々に私たちが取り組んでいることについて伝えられたほか、私たちが持っている強みや成長した点について振り返り、考えるきっかけとなりました。

女子フォーラムでは3回目の発表でしたが、ポスターを作るとき、発表練習をするとき、そして本番に発表をす



るときと、フォーラムに向けてのすべての過程が貴重な経験であると感じています。次年度のフォーラムでは、この経験をより多くの方々と共有していきたいです。



物質化学工学科3年 岡田 香里
笠原 海帆
小出 ゆり

12月23日に大阪府立大学で2015年度高専女子フォーラムが開催されました。私達は、女子中学生・保護者、企業の方に教育や研究、学生生活等についてのポスター発表を行いました。また、企業の方による女性技術者の活躍や男女共同参画の取り組みについての発表を聞きました。このフォーラムは、今までの学生生活を振り返り、将来について考えるととてもいい機会になりました。



奈良高専も地方創生に取り組むことになりました

～地域をささえる人材の輩出のために～

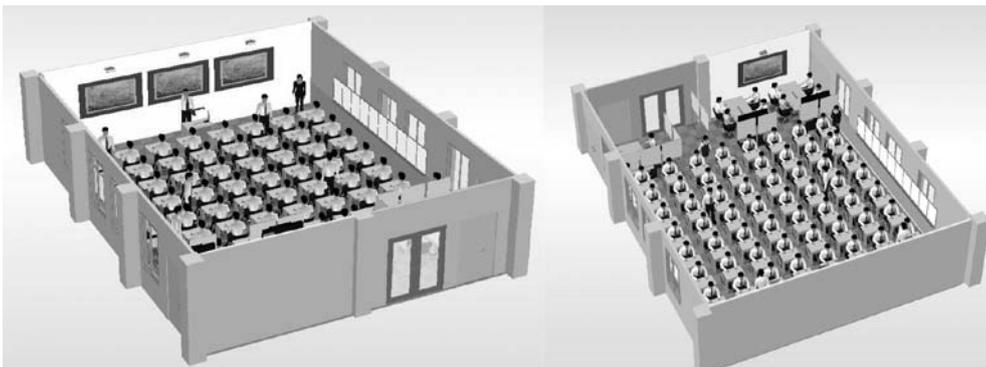
この度、本校は、文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に採択されました。COC+とは、地方創生の中心となる人材の地方への集積を目指し、学生にとって魅力ある就職先の創出・開拓や、地域が求める人材を養成する教育を、地方自治体や地元企業などと共同で実施する事業です。本校は、奈良女子大学と「共創郷育：「やまと」再構築プロジェクト」に取り組むことになりました。この事業では、まず、地域創生を志向した人材を養成する「地域創生マインド養成教育プログラム」を実施します。具体的には、学生が、地域創生に関

COC+事業推進責任者
電気工学科 教授 藤田 直幸

する使命感を持つこと、学習過程で地域の優良企業等と会うことや地域企業で活躍できる場を発見することを目的として、地域創生理解科目、地域創生演習科目、地域創生実践科目の3つの科目群を開設する予定です。

また、地元企業や自治体などのニーズに応えるための研究開発拠点である地域創生研究センター「TOMO」を設置します。このセンターには、福祉ロボット、医工連携・地域包括ケア、スマートシティ、農工連携、環境の5つの研究クラスターを設置し、①奈良県の地域産業の支援・創出、②農林業の振興、③医療・福祉の充実、④防災・危機管理の解決に貢献します。

今年度は、教育プログラムに使用する教室の整備と研究クラスター基本設備の整備を行います。この事業を通じて、本校が奈良県の発展に寄与できる人材を養成できるように取り組んでいきたいと考えています。



COC+で改修予定の大講義室イメージ 前方、後方は全面ホワイトボードでプロジェクター投影可能





学生の活躍①

食いしん坊の短期留学生在がやってきた

電気工学科5年 西田 明子

私は、チューターとして3ヶ月の間同じ研究室で留学生のウン・ジンさんと過ごしました。インターンシップの手伝いだけでなく、休日に色々な場所に観光に行ったりしながら仲を深めることが出来ました。最初は挨拶程度の日本語しか話せなかった彼女が、皆と交流していく内にめきめきと上達していき、逆に私もジンと話をすることによって自身の英語力に歯がゆさを感じ、英語を勉強するモチベーションをあげることが出来ました。また、私たちの共通の趣味がK-popであったことから、大阪の鶴橋にあるコリアンタウンに行って焼肉やキムチなどおいしいものをたくさん食べに行ったのがとても思い出に残っています。さらに、食べる事が大好きな彼女と海鮮丼を食べに行ったり、ラーメン屋さんに行ったりと本当にたくさんの楽しい思い出を作ることが出来ました。そのため、3ヶ月という期間は本当にあっという間で、帰国日に空港まで見送りに行ったときは寂しくなって出国ゲートで泣いてしまいました。

ました。帰国して数ヶ月経過した今でもLINEなどで頻繁にやり取りをしています。私は4月から社会人として働き始めますが、今回の国際交流を経て、海外で働いてみたいという思いが強くなりました。そのためにも、英語の勉強をさらに頑張っていきたいと思いました。



平成27年度(後期)学生表彰者

優秀賞

5 M 岡本 達樹、齋藤 匠 5 E 小田 博章、島田 昌紀 5 S 田村 亮馬、村口 陽平 5 I 石坂 守、齊藤 裕介、OLIVEIRA, FARLEY SOARES 5 C 西村 知華、野村 麻妃

皆勤賞

5 M 石田 豊、岡本 達樹、木村 瞭太、芝野 大樹、武村 賀幸、畑中 悟、増田 雅士、吉岡 祐弥
 5 E 今中 友美子、岩本 哲、小田 博章、辰巳 功祐、山本 幸弘、横川 浩平
 5 S 池田 文一郎、岡本 拓実、菅田 唯仁、永矢 健人、松浦 弘泰、雷 功二
 5 I 石坂 守
 5 C 黒崎 滯、佐藤 潤一、澤田 廉、園田 幸樹、高樋 美佳、西村 知華、野村 麻妃、松山 尚樹、村上 舞、湯川 優一

特別賞イ

5 M 瓜生 佳穂 第46・47・48・49回 全国高等専門学校体育大会 水泳の部 出場
 武村 賀幸 第42・43・44・45・46回 全国高等専門学校体育大会ラグビーフットボール大会 出場
 畑中 悟 第44・45・46回 全国高等専門学校体育大会ラグビーフットボール大会 出場
 伴 瑞季 寮長1期 副寮長2期
 山西 僚介 第25・26・28回 アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト大会 出場
 5 E 小田 博章 第25・26・28回 アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト大会 出場
 藤井 椋大 第42・43・44・45・46回 全国高等専門学校体育大会ラグビーフットボール大会 出場
 藤原 慎二郎 第46・47・48・49・50回 全国高等専門学校体育大会 陸上の部 出場
 5 S 菅田 唯仁 第25・26・28回 アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト大会 出場
 高城 凱 第42・43・44・45・46回 全国高等専門学校体育大会ラグビーフットボール大会 出場
 松浦 弘泰 学生会会長1期、学生会会計2期
 5 I 黒川 慶 第42・43・44・45・46回 全国高等専門学校体育大会ラグビーフットボール大会 出場
 齊藤 裕介 第18・19・20・21・22回 全国高等専門学校将棋大会 出場
 中村 優太 第44・45・46回 全国高等専門学校体育大会ラグビーフットボール大会 出場
 5 C 石川 進 第46・47・48回 全国高等専門学校体育大会水泳の部 出場
 黒崎 滯 第46・47・48回 全国高等専門学校体育大会水泳の部 出場
 高樋 美佳 第46・47・48・49回 全国高等専門学校体育大会バドミントンの部 出場

特別賞ロ

○第46回 全国高等専門学校体育大会ラグビーフットボール大会 準優勝
 5 M 武村 賀幸・畑中 悟、5 E 藤井 椋大、5 S 高城 凱、5 I 黒川 慶・中村 優太、
 4 M 上田 誠也・土井 陽登・長谷川 夏樹、4 E 塚本 涼太、4 I 熊本 祐馬・小銭 謙介、
 4 C 小野 翔平・中西 創、3 M 藤田 直土・瀬川 紘生、3 C 田中 咲磨、2 M 伊東 聡・藤澤 穂高、
 2 E 深瀬 雅己、2 I 福本 優介、2 C 松浦 拓海、1 E 植村 拓馬、1 S 大床 信滋・柳村 ゆう
 ○アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2015 全国大会 優勝
 5 M 山西 僚介、5 E 小田 博章、5 S 菅田 唯仁、
 4 S 高岸 涼平・川田 悠介・外山 仁大・中谷 友哉・森下 大輝、2 E 樽井 天

特別賞ハ

○第26回 日本数学コンクール 団体戦出場 大賞
 2 C 山下 貴央、1 I 三宅 達也・神崎 優、1 C 鄭 從真

専攻科研究優秀賞

2 MS 河中 祥吾
 2 E I 幾谷 吉晴
 2 C 岩井田 晃次

平成27年度 英語学習表彰者

優秀賞

3 S 佐藤 爽太、4 M 山崎 響輝、4 E 山田 翔太郎
 4 I ハジャー、4 I 吉川 大和、5 M 伴 瑞季
 5 E 浦野 慎啓、5 E 中西 修三、E I 1 原 一彰

奨励賞

3 E 嶋本 健人、3 S 黒田 晃市、3 S 西井 智紀
 3 C 仁木 祐太、4 E 伊庭 由季乃、4 E 大西 梓
 4 E 出口 達也、4 S 横田 理樹、4 I 藤谷 知季
 4 C 鈴木 遼太郎、4 C 林 大朔、5 M 石田 豊
 5 M 潮田 昂士、5 E 仲村 悠吾、5 I 齊藤 裕介
 5 I 西岡 祐希、5 I 山本 愛子、5 C 中澤 廣宣
 E I 1 高木 雄司、C 2 大和 道子

努力賞

1 I 田村 優次郎、3 S 大西 和真、3 C アリヤ
 3 C 大西 朝登、3 C 笠原 海帆、4 M 竜田 一輝
 4 E 芦田 祐哉、4 E 湯瀬 彰人、4 S 佐藤 優志
 4 S 武田 真明、4 S 松井 智一、4 C 和田 昌基
 4 I 大野 優、4 I 藤重 諒多、4 C 渡邊 真衣
 5 M 岡山 和樹、5 M 齋藤 匠、5 M 田端 信哉
 5 M 畑里 和雄、5 M 増田 雅士、5 M 迎山 航基
 5 E 小田 博章、5 E 金田 亮、5 E 北村 拓海
 5 S 竹村 凌平、5 S 雷 功二、5 I 多田 圭佑
 5 I 長濱 将太、5 I 中村 優太、5 I 三上 徹朗
 5 I 宮内 智也、5 I 吉田 歌穂、5 C 大西 悟
 5 C 小柳 伊代、5 C 園田 幸樹、5 C 田中 陸
 5 C 光好 佑磨、5 C 湯川 優一

【英語学習表彰制度】

本校学生の英語力向上を図るため、TOEICスコアの優秀者と英語検定合格者を表彰する制度です。平成27年度は計67名の学生が、次の基準によって表彰を受けました。

英語学習優秀賞…本科生・専攻科生のうちTOEIC735点以上または英検準1級以上に合格した者

英語学習奨励賞…本科生・専攻科生のうちTOEIC605点以上または英検2級に合格した者

英語学習努力賞…本科生のうちTOEICスコア470点以上または英検準2級に合格した者

優秀賞…在学5年間に於いて、学業成績が優秀で、人物が優れている者に贈られます。

皆勤賞…在学期間中、欠席、欠課がなかった学生に与えられます。ただし、同一科目における遅刻、早退は3回で欠課1時間とみなされます。

専攻科研究優秀賞…専攻科在学期間中、論文等の特に優れた学術研究活動が認められた者に贈られます。

特別賞イ…在学期間中、全国大会等に3回以上出場した者並びに課外活動等において特別な功績があった者に贈られます。

特別賞ロ…全国大会又はこれに準ずる大会において、優勝又は準優勝した個人又は団体に贈られます。

特別賞ハ…学校内外において特別な善行、学生の模範として推奨できる行為又は功勞等のあった個人又は団体に贈られます。

上記の他、特別賞ハ(ロ)に準ずる催し物において、それらと同等と認められる成績を挙げた個人又は団体に贈られますが、今回は該当者がありませんでした。





奈良高専Aチーム「ロボット名：大和」が全国優勝

～みんなの「想い」で～

機械工学科5年 山西 僚介

僕は今年、同学年の菅田君達とともに最後のロボコンに臨みました。僕にとっても、みんなにとっても、今年の大회는絶対に負けられないものでした。退職された勢田先生が最後に指導されていたのも僕達、熱心に教育してくださっていた諸先輩方が見ていた最後の世代も僕達でした。

様々な想いが今年の僕たちの最後のロボコンには詰められていました。8年前に発足されたロボコンプロジェクト、積み上げられてきた伝統や技術は本当に大きなものです。

ロボコンプロジェクトの力を直々に受け継いできた僕たち

ちが、この8年間の想いを絶対に形にする。そう、「優勝し
かありえない」。そんな気持ちで、チームは結成されました。

「人事を尽くして天命を待つ」今大会での結果は、まさにこの言葉が体现された結果だと思えます。製作したロボット「大和」、優勝を決めたその瞬間は、全力を尽くしてくれたチームメンバー、支援して下さった多くの先生方、悔し涙を飲んだOBの方々、多くの人たちによって尽くされてきた努力が、真に報われた瞬間でした。

高専の5年間でこれほどの経験ができたこと、そしてこんなに素晴らしい人々に関われたこと、その想いを成し遂げられたことを、本当に誇りに思います。



ロボコンBチーム 射抜け！わぶさめくん

Bチームリーダー 電子制御工学科3年 濱口 翔大

私たちBチーム「射抜け！わぶさめくん」は、全国大会のエキシビションに出演しました。エキシビションには全国大会に進めなかったロボットから、アイデアの優れた2台が招待されました。全国大会の舞台上で「まるで人のように弓を扱い、輪をボールに入れる」というアイデアを実現したロボットを披露することが出来ました。「観客の心を射抜く」という強い思いを全員が持ち、ここまで来たことを本当に嬉しく思います。また、来年度も全国大会の舞台上に立てるように努力していきたいと思えます。

最後に、この場をお借りしまして、私達を支えてくださった先生方、校長先生、事務職員の方々、そして最後まで

応援して下さった皆様に感謝いたします。本当にありがとうございました。



全国高等専門学校ラグビー大会準優勝！

マネージャー 情報工学科5年 西岡 祐希

物質化学工学科5年 西村 知華

1月4日から第46回全国高等専門学校ラグビー大会が、今年も神戸のユニバー競技場で開催されました。奈良高専は10年連続15回目の出場です。昨年11月に行われた近畿大会決勝では10-27で神戸高専に敗れ、悔しい思いを胸に全国大会へ臨みました。

全国大会初戦の相手は久留米高専でした。試合開始直後から着実に3トライを決め、21-0で前半戦を終えました。後半戦でさらに2トライを追加し、33-0で初戦を突破しました。

準決勝の相手は近畿大会で敗れた神戸高専でした。奈良

は堅い守りを崩さず、3-0で前半戦を終えました。後半戦では1トライを奪い合い、奈良はさらにペナルティーゴールで得点を加え、13-5で勝利を収めました。近畿大会での雪辱を果たし、決勝へと進みました。

決勝の相手は、昨年も全国大会決勝で戦い、0-50で大敗した仙台高専(名取)でした。前半戦は仙台高専に2トライを許し3-12で折り返しました。後半戦も仙台の先制で3-20となりましたが、ここから反撃を見せ奈良は連続3トライ。24-20と逆転したのは残り1分を切った時間帯でした。仙台の得点を上回ったその瞬間、応援席の方々は総立ちだったようです。しかし、ラストワンプレーで仙台にトライを奪われ、24-25でノーサイドを迎えました。全国優勝は果たせませんでした。見る人の心を震わせる、言葉では言い表せないほどの熱い試合でした。

ご家族の方々、奈良高専OBの方々、先生方、また多くの関係者の方々、ラグビー部の活動へのご理解とご支援をありがとうございました。





機械工学科5年 迎山 航基

入学前、私は5年という期間はとても長いものだと考えていました。しかし、入学から卒業までの5年間は予想を上回るスピードで過ぎ去りました。奈良高専は中学卒業から一貫して5年間工学を学び、エンジニアを目指す教育機関です。そのため、クラス替えはなく入学から卒業まで同じクラスという高専ならではの環境で日々の学習を行います。この高専という環境で自分が得られたものはエンジニアとして生きていくための確かな技術力、そして何より5年という濃い時間を共に学んだ仲間です。高専で学習する専門科目に塾などはありません。なので、テスト前になると私達のクラスでは教室や図書館に残り協力し合いテストを乗り切ってきました。その過程で切磋琢磨し友情を深め、お互いを成長させたことはかけがえのない思い出の1つです。他にも学習だけでなく、スポーツ大会や修学旅行などの学校行事でさらに仲を深めました。また、5年間の集大成である卒業研究ではいままで学んだ知識をフルに活用し研究に取り組みました。しか

し、研究がなかなかうまく進まず頭を抱えることも多々ありました。この試行錯誤を繰り返して研究を行った経験はこれから困難にぶつかったときでも乗り越えるために大いに役立っていくことだと思います。最後に、高専を卒業するにあたり、いままで支えていただいた家族、5年間の勉強や研究において終始丁寧にご指導して頂いた先生方にこの場をお借りして深く感謝を申し上げます。

機械工学科5年学級担任 小柴 孝

機械工学科5年の皆さん、卒業おめでとうございます。

5年前、入学式で名前を呼ばれる度に、緊張と不安の表情を浮かべながら起立されていた様子が、つい昨日のように思い出されます。5年を振り返り、特に印象的だったのは、個性的なメンバーが多いにもかかわらず、行事等では不思議と纏まりの良かったところ。4月からは、それぞれ就職、進学先で新たな生活がスタートしますが、5年間学生生活を共にした仲間を大切にしてください。今後、さらなる活躍を期待します。



5Mクラスメイト達



卒業
おめでとう



電気工学科5年 金田 亮

月日が経つのは早くあつという間の5年間でした。学生服を着て通学していた私たちが、今はスーツを着ていることに改めて流れた年月を実感します。

高専生活で様々な行事がありましたが、特にスポーツ大会の種目である大縄跳びをクラス全員で跳んだのは良い思い出で、最高点を取った時はクラスの団結力が伺えました。その時一緒に跳んでいた当時の担任の先生には感謝してもしきれません。

このクラスは個性的な人が多く、クラス内で先生のものまねが流行ったり、文化祭の時に看板を作る他にダンボールで着ぐるみを作ったり、コスプレ衣装を作ったりと面白いことが絶えませんでした。そんな一面もありますが、部活動で部長を務めている人も多く真面目な人が多いクラスでもありました。

5年生になりよいよ卒業研究が始まり、なかなか研究がうまくいかないときや発表資料の作成などにより苦しい日々が続きました。しかし、これを乗り越えたことは私たちの中で確かな自信になり、これからの人生の糧になるはず。です。

最後に、ここまで成長できたのは他ならぬ両親と奈良高専で勉強や研究、部活動、進路、様々な面で支えて頂いた教員の方々に深く感謝申し上げます。そして今まで苦楽を共にし、楽しい思い出を一緒に作ってきたクラスメートの皆に感謝し、この文章を締めくくりたいと思います。5年間本当にありがとうございました。



電気工学科5年学級担任 藤井 治久

皆さん、卒業おめでとうございます。苦楽を共にした同級生と別れ、一人ひとりが新しい人生の道のりを歩んで行くことになりました。奈良高専で学んだ知識を今後の人生に役立てて欲しいのは当然ですが、同級生との思い出も大切に生きて行って欲しい。

さあ、大いなる真昼の海へ旅立って下さい。
そして、私も退職します。ありがとう。



5Eクラスメイト達





電子制御工学科5年 長渡 知明

5年間という月日は一瞬のように過ぎ去り、不安と期待を胸に膨らませながら出席した入学式が、ついこの間のようにも感じられます。奈良高専での5年間の学生生活を思い起こすと、数々の思い出が浮かび上がってきます。団結と協力の重要性を身をもって体験したスポーツ大会、社会に出たら日々勉強だと先輩方に教えて頂いた工場見学、班毎に知恵と工夫を凝らして挑んだ4年次の班対抗ロボットコンテスト。それぞれに語り尽くせぬ思い出溢れる、素晴らしい学生生活でした。中でも、五年次の高専祭での模擬店出店は、初出店にも関わらず、参加者一人一人が提供するメニューのアイデアを出し、限られた調理法の中で様々な工夫を凝らした商品が無事売れたこと。さらに、当日は参加者以外のクラスメイトも客引き等で協力してくれたこともあり、5年間で一番クラスが一致団結できた、学生生活中で最高のイベントでした。

卒業研究において指導教員となってくださった先生方には、研究者として未熟な私共の為に多くの時間を割き、研究内容を発表聴講者に分かりやすく伝えるための方法、論文での論理展開の仕方から正しい表現方法等、様々なことをご指導いただいたこと、本当に感謝しております。

私共の中には、大学に進む者、このまま社会へ出る者もおります。どの道に進むにしても、本校で学んだ「自律と友愛・幅広い視野・創造の意欲」の理念を胸に日々研鑽を積み、社会の発展に貢献できる技術者として、人生を歩んでいきたいと考えております。

今日までご指導下さった先生方、支えてくれた家族の皆様。5年間、本当にありがとうございました。



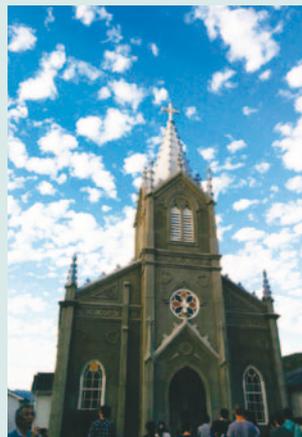
5Sクラスメイト達

電子制御工学科5年学級担任 飯田 賢一

みなさん、卒業おめでとうございます。入学当初に、「卒業する」という最たる課題を提示され、それをなんなくclearできた学生も、幾度も立ち止まりながらclearした学生もいることでしょう。この日を迎えるまでには、だれもが多くの人に支えられてきたと思いますので、感謝の気持ちと大きな課題をクリアしたことに自信をもって、次のステージでもがんばってください。



5Sクラスメイト達



3年前の春、私は奈良高専へ編入学して初めて授業を受けました。あの日感じた緊張は今でも忘れることができません。日本語でのコミュニケーションが難しく、いろいろな文化の違いもあったので友達ができるか不安でした。しかし、多くのクラスメイトが積極的に自分達から話しかけてくれて驚きました。私の下手な日本語でも、暖かく会話してくれたので歓迎されているなと思い、とてもうれしかったのを覚えています。

そこから、私とクラスのみみんなとの学生生活が始まりました。今まで、共に実験で苦労したり、難しい科目の

勉強で頭を悩ませることもありましたが、大変でしたが、その辛いときに助け合うことでクラスのみみんなと仲良くなれたと思います。

そして、あっという間に卒業旅行の日が来ました。この時、確かに「やった、ここまで無事に過ごすことができた」という強い達成感がありましたが、同時に「この奈良高専で出会った仲の良い友達と離れたくないな」という気持ちでいっぱいでした。私たちのクラスの中でも就職する人、進学する人、それぞれ様々な進路に向かうことでしょう。どちらの場合でも、この学校で身に付けた知識や体験した経験を忘れずに夢を実現してほしいと願っています。短い間でしたが、私は共にしたクラスのことを一生忘れません。

最後に、先生方に感謝の気持ちを申し上げたいと思います。先生方には時に厳しく、時に優しく、親身にご指導、ご鞭撻賜りました。そのおかげで私たちは、これから自分たちの進路に向かって自信を持って歩んでいくことができると思っています。本当にありがとうございました。



5Iクラスメイト達

情報工学科5年 ファルレイ

情報工学科5年学級担任 山口 智浩

私が担任した3年を振り返ると、卒業旅行先の教会前で見た、様々な形の雲が浮かぶ秋の青空を思い出しました。それは隠れキリシタンの歴史を地元のガイドさんが熱く語って下さり、予定の1時間を過ぎた頃、見学先の教会前の広場から見上げた空は、いつもと違って新鮮な印象として記憶に残りました。僕らは熱く取り組めたか?共に学ぶことの苦労や楽しさ、研究の面白さ・難しさを経験・共有できたか?みんなこれからもっと成長するのを楽しみにしています。





物質化学工学科5年 大西 悟

今年の3月をもって卒業するにあたり、私が過ごしてきた5年間を思い返してみると、非常に多くの方々を支えられてきたのだということを実感します。各学年のクラス担任としてお世話をしてくださったり、進路や実験、勉強など様々な相談や質問に応じてくださった先生方、部活や研究室に入ったばかりでわからないことだらけだった私に懇切丁寧に指導してくださった先輩方、そして毎日温かく見守ってくれた両親にも支えられ、私の高専生活はとても充実したものとなりました。そしてそれと同時に、たくさんの貴重な体験や思い出もできました。インターシップでは実際の社会がどのようなもので、何が大切なのかということを知ることができましたし、委員会や部活(私は生協学生同好会に所属していました)では、学校のために何ができるか、また何をすべきかについて真剣に取り組むことができました。これらの経験の中には、他の学校では決してできなかったであろうものも数多く含まれているのではないかと思います。こうしたことを考えると、私は奈良高専という学校



5Cクラスメイト達

に入学して本当に良かったと実感します。そして、現在この学校に在籍している皆様は、ぜひ今しかできないことに積極的に取り組んで、有意義な5年間にして欲しいと思います。また、最後になりましたが、在学中お世話になった方々にこの場をお借りして感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



5Cクラスメイト達

物質化学工学科5年学級担任 亀井 稔之

卒業おめでとうございます。5年前の入学式の時と比べて大きく成長した皆さんを送ることは、本当に感慨深いものがあります。5年間、勉強、部活、卒業研究、全力で走りきることができたでしょうか。4月からはそれぞれ違う道を進みます。嬉しいこと悲しいことたくさんあると思いますが、全力で物事にあたってください。失敗してもきっと人生の財産となるはずで、一度しかない人生が幸せに過ごせることを祈っています。



専攻科 修了おめでとう

機械制御工学専攻2年 大内 紳司

高専生活の七年間のうちで、専攻科の二年間が一番苦労した期間でした。元々、「研究って何だろー?」というのが、僕の本科時代での印象でした。そんな中、専攻科に入学し研究生生活が始まりました。研究は本科と比べて更に論理的思考やプレゼン能力などが求められるようになり、成果を上げるのに大変しんどい思いをしました。特に、研究を進める過程においては、何度も道に迷い挫折を味わいました。そんな中、学会発表などを通してここで得た苦い経験は、将来なんらかの形で必ず役に立つと考えています。そして、これからの世の中に貢献して行きたいです。

電子情報工学専攻2年 福岡 久和

専攻科2年間はあっという間に過ぎました。授業ではより専門的な技術を学べました。特に、外部講師による特許の授業は専門的な授業と異なり新鮮でした。ちょうど放映されていた「下町ロケット」を織り交ぜ分かりやすい授業だった印象があります。また、研究は学生と指導教



員との議論により自身の知識が深まり、考え方も磨きが掛かりました。発表や論文執筆は入学当時からレポート作成が苦手でした。しかし、先生方の指導や友人の支えもあり乗り越えられました。他にも学内の友人たちとアプリ開発を行い忙しい学生生活でしたが、良い経験ができました。

化学工学専攻2年 近山 友梨

7年間通った高専生活もとうとう終わりを迎えました。長い高専生活になると思いきや、本当にあっという間でした。専攻科に入学してからは毎日が研究のことで頭がいっぱいで、何度PCと仲良く夜更かしたでしょうか。うまく研究が進まずやるせない気持ちになったことは何度もありました。それでも手止めず考えることを止めず、仲間たちと共に切磋琢磨し研究に一生懸命取り組んできたことは私にとってかけがえのない経験です。また、専攻科に入学後は他専攻の学生との交流が増え、異分野の重要性を学べるいい機会となりました。この奈良高専の専攻科生として修了できることを誇りに思います。

専攻科長 藤田 直幸

専攻科修了おめでとうございます。7年間の奈良高専生活で、様々な経験があったと思います。楽しくうれしい経験ばかりではなく、苦く苦しい経験もあったかもしれませんが、それら一つ一つが奈良高専で皆さんが得た財産です。きっとこの7年間で皆さんは成長したはずで、次のステージでも、この経験を思う存分発揮して、さらなる飛躍をされることでしょう。皆さんが日本を支える技術者・研究者として活躍されることを期待しています。





退職にあたって

一般教科 片山 悦男



私は昭和55年に奈良県立畷傍高校に教諭として採用され、昭和58年4月1日より奈良県立片桐高校に転勤し、昭和62年4月1日より奈良高専一般教科講師として採用され、本年、平成28年3月31日に一般教科教授として奈良高専を退職しようとする者です。

畷傍高校では奈良県の伝統的な高校教育の基礎を叩き込まれ、片桐高校では、英語科を特色とする高校で、初代英語科主任として、学校を一から作る楽しさと苦しさを経験しました。奈良高専への転勤を決めた一番の理由は、研究ができるということでした。

研究テーマはアメリカ文学のHenry Jamesという作家の視点の技法と呼ばれる小説技法の研究です。このテーマで書いた5つの論文は京大英文学会や日本英文学会で発表しましたが、これらの論文で、世界の研究者が長年解けなかったHenry Jamesの視点の技法の謎が私なりに解けたと思います。

奈良高専の学生の皆さん、懸命に努力すれば、今まで世界になかったものを作り出せると思います。どうぞ自分を信じて、夢中になって努力されることを心より願って、私の退職の言葉としたいと思います。

奈良高専、13年間ありがとう!

電気工学科 藤井 治久



縁あって電機メーカーの研究所から奈良高専 電気工学科に着任して早13年が経ち、退職を迎えることになりました。23年間の企業での研究生活から、技術者教育の現場へと、大きな変化に戸惑いがありましたが、教職員の皆様のご支援・ご協力を得、また、良き学生たちに巡り合うことができ、つつがなく13年間を過ごすことができましたこと、本当にありがとうございました。

高専は、教育・校務・研究と多忙を極める職場ですが、その中で研究面だけは自信を持って遂行できたの

ではないかと思っています。企業での研究を継続して行えたこと、また、メーカーでない中立的な立場からJAXAやその他多くの企業と共同研究を実施でき、多くの人たちとの出会いがありました。本当に感謝です。

学生の皆さんには、退職にあたって、企業の先人の言葉、“仕事人が人を育て、人が仕事を拓く”、を贈りたいと思います。学生時代に奈良高専で得た知識を糧に、豊かな社会の一層の進展に貢献していただきたい。皆さんの今後の活躍を期待します。

カウンセラーだより

「ルーティン」があなたを守り、あなたを高める!

臨床心理士 福田 道代

昨年話題になった「ルーティン routine」、皆様そのポーズですっかり浸透した言葉と思われる。この言葉は、「決められた一連の動作」「型にはまった動作」「日々の作業」という意味ですが、スポーツ選手だけではなく、私たちも取り入れることで、学業のパフォーマンスを高めるだけでなく心の健康も保たれると考えられます。

ひとつは、型通りの動作を行うことで雑念が振り払われ、心が落ち着くという作用です。何か物事を達成したい時に、他の物事に気持ちをとらわれていると落ち着かなくなり、集中できず、本来の実力が発揮できない場合もあります。何も考えず型通りの行動をする、これを忠実に守れば、本来の実力だけが

浮き上がって来ると考えられます。

さらに考えられるのは、何か心を乱す出来事が襲って来た時に、ルーティンによって本来の自分を取り戻す作用です。予期せぬ出来事は誰にでも起きる可能性があります。昨今の心乱れるニュースや事故・災害もその例と言えます。心が落ち着かない中でも、いつも通り行動していること、決まった時間に起きて食べて歯を磨き出かけて、決まった時間に眠る準備をする、これら深く考えずに出来る動作を淡々と行うことで、乱された心の疲れがリセットでき、心が平常心に近づくと考えられます。私も、眠る前に眠りの質を高めるために、何も考えず床掃除やストレッチを行うことを自分のルーティンとしています。すな

わち、型通りの動作だけでなく、型通りの日常も自分を守り高めるための大事な行動と言えます。心の健康を保つためにも、学生相談室で、自分のルーティンについて一緒に確認してみませんか。



本校では、各学科及び、特別相談員の先生方の相談の他に、福田・小枝カウンセラー(臨床心理士)によるカウンセリングを行っています。一人で悩みを抱え込んでしまわずに、なんでも相談を持ちかけてください。みなさんの一人一人が、より豊かで充実した学生生活を送ることができるようお手伝いをしたいと考えています。

利用方法	学生相談室・保健室で予約できます。(予約制ですが、可能な限りその場で相談に応じます。)
開室時間	心理カウンセラー(臨床心理士)が対応します。 月・金曜日 15:00~18:00
場 所	本館1階 保健室横 カウンセリングルーム
カウンセリングの方法	カウンセリングは原則として1対1ですが、保護者や友人と一緒に受けることもできます。

カウンセリングルームは、あなたが悩みを打ち明けたい場所でありたいと来室をお待ちしています。





学生の活躍②

学生チャレンジプロジェクト報告



バズーカで獲物を捕獲しているように見えるテッポウエビを徹底解剖

機械工学科4年 山本 将也

私達は、テッポウエビという海の生き物を飼育・観察しながらその生体の素晴らしさに感動しました。特に、目の前でテッポウエビがハサミを閉じるだけで「パチン」と鳴らす様子を見た時には驚きました。そして、ハイスピードカメラでハサミを閉じた時に発生する音の原理である綺麗な泡を撮影出来た時は感動しました。このように私達は、テッポウエビを通して素晴らしい知識や感動を得ることが出来ました。

一筋縄ではいかない実験の数々の中で、班で協力して目標達成を目指すことが出来ました。例えば、私達は海の生き物を飼育することは初めてだったので、脱皮前の変色などテッポウエビに変化があると不安になりました。また、私達がハサミを閉じるところを撮影する時にテッポウエビが動いてくれず試行錯誤を繰り返しました。このような活動を通して、班のみんなや先生方と協力し問題を乗り越え当初の目標を達成することが出来ました。

深海に広がる宇宙-深海微生物の謎に迫る——

物質化学工学科3年 西岡 心

深海は、暗黒・低温・高水圧といった過酷な環境にあり、このような環境に適応した微生物は深海独自の生態系を築いています。

私は深海微生物の生態系に魅力を感じ、プロジェクトを通して深海微生物と微量元素-ヨウ素についての研究を行いました。具体的には、深海で採取した微生物を対象に、海水に含まれるヨウ素化合物との相互作用を調べました。結果、海洋には海中ヨウ素の主要成分であるヨウ素酸イオンを高度に還元する微生物が存在しているということがわかりました。今後、この微生物の遺伝子解析や種々の微生物学実験でデータを蓄積し、論文にまとめ発表することを目標にしています。



第26回日本数学コンクールにて団体戦大賞を受賞

物質化学工学科2年 山下 貴央

数学コンクールの出場を「数学LOVE!」のメンバーに呼びかけたのは、実は締め切り直前でした。

僕達が取り組んだ問題は、体育祭をテーマに“段取り”をどういう風に工夫して当てはめるかという問題で、様々な難関があり、また問題文の理解にも悩んだとても骨のある問題でした。メンバー全員で試行錯誤をした結果、確信的な答案に辿り着くことができ、大賞を受賞することができました。

今回このような賞を頂くことができたのは「数学オリンピックに挑戦したい!」という後輩が沢山いて学生チャレンジプロジェクトという形になったからであり、名倉先生や梅本先生の熱心な指導がなければ実現しなかったと思います。そういう面で、「数学LOVE!」メンバーの一員になれてとても良かったと思います。数学オリンピックは残念な結果に終わりましたが、僕達4名は5月のシンガポール国際数学チャレンジ(SIMC)に向けて日々精進しようと思います。これからも応援よろしくをお願いします。



学会報告

2度の国際学会を経て

機械工学科5年 潮田 昂士

昨年、自身の卒業研究を発表する機会を2度、所属する研究室の谷口幸典先生に設けて頂き、京都およびタイ王国で開催された国際学会に参加しました。京都では研究に関するポスターを使ったプレゼン、タイではスライドを使ったプレゼンを行いました。両学会を通じて痛感したことは、他人に自分の研究を理解してもらうことの喜びと難しさです。特に学会中は英語で話すため、伝えたいことを訳せず、失敗も度々しました。その中で、相手から質問やコメントを貰った時には感動さえたことを憶えています。諦めない姿勢が話す原動力となり、結果、京都ではポスター賞の受賞、タイでは現地・日本人学生と知り合うことができました。卒業を前に、人生にとって大きな経験をできたことを先生および奈良高専に感謝しています。



コンテスト報告

時を〇〇するソフトウェアコンテスト

情報工学科5年 齊藤 裕介

毎年秋ごろに学生が参加できるソフトウェアアイデアコンテストが開催されています。

今回、私たちは「夢を叶える時間を共有するソフトウェア」として、夢に向かって努力した人がその経験談を投稿するサービスを考案し、2回の書類審査を突破、決勝に進むことができました。

決勝には6チームが参加しました。結果は、他のチームの準備の周到さ、プレゼンの腕前、デモ機の完成度など、あらゆる面で圧倒され、決勝参加チーム中最下位となりました。

目標としていた優勝は逃しましたが、普段過ぎていた高専を飛び出して、大学生とプレゼンで勝負し、自分たちの実力を把握できた貴重な経験だと思っています。

在校生の皆さんにも応募してみることをオススメします!





学生会から

学生会会長 電子制御工学科3年 西村 海里

みなさんこんにちは。突然ですが、学生会が毎月行っている交通安全運動を知っていますか？ 学生会執行部員がそれぞれ所定の位置に着いて学生の交通違反を調べるといった活動です。そこで、今回は交通ルールについて再確認していきたいと思います。

まず、道路交通法改正が平成27年6月1日から施行されたことを皆さんはご存知でしょうか？ 危険行為（例えば信号無視や無灯火など）を3回行くと講習を受ける、もしくは罰金を支払うという制度です。

安全な運転を心掛けてもらうために、交通安全運動を実施しているのですが、道路の逆走や無灯火、複数人での並走など数多くの違反が見られます。平成27年度に奈良高専の学生による自転車での事故が数件起こったということも耳にしました。

違反者が減少し、さらに自転車による事故が来年度はなくなるように各個人が今一度、交通ルールについて考え、再確認していただくようお願いいたします。また、学生会でも交通安全運動をより有意義なものにしていきます。



なお交通安全運動を行った後、どのくらいの違反があったのか資料にまとめて学生玄関、凌雲館、講義棟の各掲示板に掲示します。各個人が確認することによって『自分は違反をしない』という意識が芽生えてくると思いますので、1度見てみてください。

平成28年度は安全運転を心掛けて、事故のない1年にしましょう！



クラブ・同好会紹介



vol.11

体育部

- アーチェリー
- ☆合気道
- ☆弓道
- ☆剣道
- ☆硬式野球
- ☆サッカー
- 柔道
- ☆少林寺拳法
- ☆水泳
- ★ソフトテニス
- 卓球
- ☆硬式テニス
- ☆バスケットボール
- バドミントン
- バレーボール
- ☆ハンドボール
- ラグビー
- 陸上競技

文化部

- からくり
- ☆機械研究会
- ☆軽音楽
- ☆茶道
- ☆将棋
- ☆情報処理研究会
- ☆吹奏楽
- ☆美術
- ☆放送

同好会

- 化学同好会
- クイズ研究会
- 現代視覚文化研究会
- 生協学生同好会
- 電気技術研究会
- ☆料理研究会
- ☆合唱同好会
- ★システム開発研究会

☆印は既刊号で紹介しました。

ソフトテニス部

電気工学科3年 徳井 幸輝

私たちソフトテニス部は現在、男子20名女子2名の計22名で活動しており、月曜日～土曜日の週6日間テニスコートで練習しています。

ソフトテニス部では、毎年「ランキング戦」とよばれる校内戦を行っています。この校内戦を勝ち抜いたペアだけが高専大会の個人戦と団体戦に出場できます。その高専大会では、ここ数年結果を残せておらず、昨年も個人戦・団体戦ともに全国高専大会へ出場できないという結果に終わってしまったので、「今年こそは!」という思いで部員全員が一つになってお互いに切磋琢磨しあいながら練習しています。



システム開発研究会

電子制御工学科4年 横田 理樹

こんにちは。システム開発研究会です。私たちは平成27年7月に設立された、奈良高専で最も新しい同好会です。制御用プログラムの作成や電子工作をすることで、技術者としての知識を身に付け技術的スキルを高めようという目的から設立しました。火、金曜日の放課後を中心に電子制御工学科棟4階の実験室で活動しています。

せっかく高専に入ったんだから専門的な勉強を授業時間外でもしたい!! とにかく実験が好きだ!! 何か面白い物を作りたい!! そんなあなたにお勧めです。少しでも興味が湧いたら是非一度足を運んでください。

今後はたくさん活躍して、奈良高専を代表できるような部活になって行きたいと思っています!応援よろしくお祈りします。



「英語プレゼンテーションコンテスト」で 全国大会出場!

機械工学科5年 田端 信哉

私は英語プレゼンテーションコンテストのスピーチ部門に出場しました。全国の高専から16人の学生がスピーチ部門に出場しました。スピーチ部門では英語で7分間、自分の将来の夢や体験談などの思いをスピーチします。審査基準にはスピーチ内容の構成、話し方、英語の発音などがあります。私は残念ながら結果を残すことができませんでしたが、全国大会に参加しているいろいろなことを学びました。例えばスピーチで聴衆を魅了する方法です。私は英語を勉強するだけでは面白くないと思います。何かに挑戦することに楽しさがあると思います。みなさんも参加してはどうですか?



プレゼンテーション部門



スピーチ部門

「高専プレコン全国大会で得たもの」

機械工学科5年 伴 瑞季
情報工学科4年 川上 幹男
情報工学科2年 村井 溪介

1月23、24日に私達は全国高専英語プレゼンテーションコンテストに参加しました。近畿地区大会を2位で通過し、全国初出場となりました。そして、大会を通して多くの物を得ました。一つは実用的な英語能力の必要性に気付いたことです。高専生は英語が不得意とよく聞きますが、参加者の英語力は高く、感心するばかりでした。二つ目は同じエンジニアを目指す全国の仲間です。頑張る仲間を見てたくさん刺激を受けました。最後に、そのような刺激を受けることが自分を豊かにしてくれることに気付いたことです。入賞は逃しましたが、自分たちのできる最高のパフォーマンスをし、大事な物をたくさん得た大会でした。後輩達にも奈良高専が全国の常連校になれるよう頑張ってください。

読書ノススメ

～今年も「ナイスランナー賞」を受賞しました!～

第11回全国読書マラソン(主催:全国大学生生活協同組合連合会)において、本校学生が「ナイスランナー賞」を受賞しました。この賞は、応募総数5,439通の中から、最終選考まで残りながら惜しくも上位入賞を逃した200点の作品に与えられます。

受賞者の声

情報工学科2年 國貞 浩良

もともと読書が好きだったが感想や宣伝文などを書く機会というのはなく、自分の一番好きな作品をもう一度読み返し、多くの人にこの作品を知ってもらいたいという思いで読書マラソンのコメントを書き、応募しました。ナイスランナー賞というものを頂けたと同時に、この本についての感想が拡散されたことをうれしく思います。



卒業記念品の寄贈

平成27年度卒業生の皆さんから「卒業記念品」として、『テーブル&チェア一体型』を寄贈していただきました。卒業生の皆さん、どうもありがとうございました。



行事予定 (4月～7月)

- ◆4月1日(金) 春季休業(～3日(日))
- ◆4月4日(月) 開寮・寮生集会
- ◆4月5日(火) 平成28年度入学式・入寮式、TOEIC IPテスト
新入寮生歓迎夕食会
- ◆4月6日(水) 新入生オリエンテーション(1日目)
健康診断、2～5年全校集会
ホームルーム・教科書購入
- ◆4月7日(木) 新入生オリエンテーション(2日目)
特別日課(2～5年)
- ◆4月8日(金) 前期授業開始(本科1～5年)
- ◆4月14日(木) 学年共通試験(1年・2年)
健康診断(1年生午後カット)
- ◆4月15日(金) 1～4年春季ハイキング
5年登校
- ◆4月18日(月) 開校記念日(通常授業)
- ◆4月21日(木) 校内リーダー研修会
- ◆4月28日(木) 学生会総会
開寮
- ◆5月2日(月) 開校記念日振替休日
- ◆5月5日(木) 開寮 寮生集会
- ◆5月10日(火) 学寮避難訓練
- ◆5月12日(木) 交通安全教室(2年)
歯科検診
- ◆5月14日(土) 近畿地区高専体育大会(硬式野球14～15日)
- ◆5月19日(木) スポーツ大会(本科・専攻科全学年)
- ◆5月26日(木) 卒業生と語る会(3年)
- ◆5月28日(土) 学寮スポーツ大会
- ◆6月6日(月) 1～4年前期中間試験(10日まで)
- ◆6月10日(金) 救急法講習会(熱中症)
- ◆6月16日(木) 人権合同特活(2年)
- ◆6月23日(木) 人権合同特活(3年)
- ◆6月25日(土) 寮祭(25～26日)
- ◆7月4日(月) 公開授業(8日まで)
- ◆7月7日(木) インターンシップ事前指導
特別講演会(4年・専攻科)
- ◆7月9日(土) 近畿地区高専体育大会(バスケットボール・卓球・柔道・テニス9～10日、サッカー9～11日)
- ◆7月10日(日) (水泳10日、ハンドボール10～11日)
- ◆7月15日(金) 近畿地区高専体育大会(ソフトテニス15～16日)
- ◆7月16日(土) (陸上16日、剣道・バドミントン16～17日)
- ◆7月22日(金) 全校集会
近畿地区高専体育大会(バレーボール22～23日)
- ◆7月25日(月) 補講
閉寮
- ◆7月26日(火) 夏季休業(本科)

編集後記

本科卒業生、専攻科修了生の皆さん、ご卒業・ご修了おめでとうございます。新たな世界での更なる飛躍を期待しております。さて、今回のCAMPUSでは、学生の皆さんの活躍をいっしょに増してご紹介させていただきました。皆さんの日々のチャレンジが、実を結びつつあることをうれしく思います。千里の道も一歩から。私も何か始めようかな。



CAMPUSについて

奈良工業高等専門学校では、広報誌「CAMPUS」を年3回(7月・11月・3月)発行し在学生の保護者の方々に送付しています。また、キャンパスは奈良高専のホームページにも掲載しています。